



# 2024 鈴鹿クラブマンレース Round 1



Organized by YODO・SMSC

2024年2月24日  
競技長

## セーフティカー(SC)運用について

- 1: セーフティカーは、ドライバーまたはオフィシャルが危険な状態ではあるがレースを中断するほどではない場合に使用されます。
- 2: セーフティカーは、車両の両サイドおよびリアに「SAFETY CAR」と表示された車両を使用します。グリッドへの試走開始時ピット出口右側で待機しますので確認して下さい。
- 3: セーフティカー導入決定と同時にすべてのマーシャルポストで黄旗の振動表示ならびに「SC」と書かれたボードを表示します。
- 4: レース中、セーフティカーはオレンジライトを点灯させながらピットレーンからコースインし、レースの先頭車両の位置に関係なくトラック上に合流します。
- 5: すべての競技車両はセーフティカーの後方に1列で整列して下さい。  
セーフティカーからの合図がない限り、すべての追い越しは禁止です。
- 6: セーフティカーの呼び戻しが決定されると、セーフティカーはオレンジライトを消灯し、その周回が終了した時点でピットレーンに入ります。この時点でセーフティカー後方に位置する先頭車両が走行ペースを決定することができ、必要であればセーフティカーとの車間距離を車両5台分以上としても構いません。  
この間もすべての競技車両は追い越すことなく、1列の隊列を維持して走行して下さい。  
セーフティカーがオレンジライトを消灯するのは、スプーンカーブ出口付近です。
- 7: セーフティカーがピットロード入口に進入すると同時に、すべてのマーシャルポストの黄旗と「SC」ボードが撤去され、それらの代わりに緑旗が振動表示され、スタートライン上ではグリーンライトが点灯、レースが再開となります。これらは最終の車両がスタートラインを通過するまで表示します。  
ただしスタートラインを超えるまで、追い越しは厳重に禁止です。
- 8: 決勝レースではセーフティカー後方からスタートすることもあります。  
この場合、1分前ボードまでのいずれかの時点でセーフティカーのオレンジライトが点灯します。  
オレンジライトが点灯すると、セーフティカーの後方からレーススタートする合図となります。  
グリーンライトが点灯すると、セーフティカーはグリッドを発ち、全車両がセーフティカー後方に車両5台分以内の距離を保ちながらグリッド上でのオーダーのままセーフティカーに従って下さい。  
フォーメーションラップを行わず、決勝レースはグリーンライトが点灯した時点でスタートします。
- 9: セーフティカー導入中の各周回は、レース周回として数えられます。

